

市議会だより



寺子屋十三番分園



秩父市イメージキャラクター

ポテくまん

9月定例会

- 4年度決算の認定
一般会計歳入 約344億7211万円
歳出 約319億1864万円
- 工事請負契約の締結 2億5249万1800円
(影森グラウンド多目的グラウンド改修工事)

「勉強終わったよ～」
「どうぶつしょうぎやろう！」
「いいよ～♪」
お兄さんお姉さんたちから教えて
もらった“どうぶつしょうぎ”
1年生同士でもできるよう
になったよ！
学童って楽しいね♪

発行：秩父市議会 編集：市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局 〒368-8686 秩父市熊木町8-15 ☎0494-25-5224

秩父市の花「シバザクラ」 木「カエデ」 鳥「オオルリ」

9月定例会の議案質疑等の内容

9月定例会(8月30日から9月21日まで開催)では、市長提出議案23件のほか、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。

4年度 一般会計決算

歳入

不納欠損額

問 不納欠損額が3年度決算比約1200万円増加となっているが、その要因は。

答 市税が大半を占めており、例年になく高額滞納の事案が個人市民税および固定資産税でそれぞれ1件あったため。

用語解説

【不納欠損】
未納となつている市の債権のうち、時効等により債権が消滅した場合や徴収不能により債権放棄をした場合に行われるもの。

寄附金

問 社会福祉推進事業寄附金 黒岩信江様からの2千万円について、経緯および寄附の意図は。

答 黒岩様の遺産を、盲導犬協会と市に寄附したいと依頼があった。福祉に役立てていただきたいとの意向である。

歳出

婚活支援

問 婚活支援セミナー委託料、婚活イベント委託料の実績と

成果は。

答 婚活支援セミナーは、2回開催して計31人が参加。参加者アンケートでは、82%の方が満足したと回答した。婚活イベントは、6回開催し、4回を委託により実施している。すべてのイベントにおいて、募集人数を上回る応募があり抽選を行っている。追跡調査は行っていないが、成婚したとの情報は今のところ把握していない。

空き家対策

問 空き家解体補助金が当初予算より減額している理由は。

答 より多くの方に利用してもらうため、補助金額を市内業者が工事を行う場合は50万円から30万円に、市外業者の場合は40万円から20万円とし、申請者全員に支給した。申請件数は、3年度27件から4年度36件となり、今後も継続していく。

高齢者在宅サービス事業

問 成年後見推進事業委託料の内容と市民後見人の現状は。

答 成年後見制度の普及・啓発活動を行うことで市民の意識を高め、制度利用促進を図ることを目的に、秩父市社会福祉協議会に事業委託しており、4年度は、講演会を実施した。市民後見人の現状については、市民後見人養成研修を現在までに3回実施し、修了者を対象にフォローアップ講座を行っている。登録者数は46人となる。

障害者自立支援事業

問 コミュニケーション支援事業委託料の内容は。

答 聴覚障がい者、音声・言語機能障がい者に、必要に応じて手話通訳者または要約筆記者を派遣しており、利用者の負担はない。4年度は100人を派遣した。

入学準備品購入補助金

問 ランドセル購入のための補助金だが、3年度実績は繰越明許費を含め2130万円、4年度実績は前年度比で約3分の2程度となっている。新入学児童あたりの補助率は

どのようになっているか。

答 4年度の入学児童対象者397人に対し、293人の保護者から交付申請があり、補助率は約74%。3年度事業の入学準備金は、対象者426人に対し、すべての方に交付を行っており、支給割合は100%となっている。

学童保育室

問 学童保育室の待機率が大幅に増加している。原因と対策は。

答 待機児童は、2年度23人、3年度35人、4年度58人と増加している。原因は核家族化や共働き世帯が増加し、入室希望者が年々増加しているのに対し、受け入れ体制が追いついていないためと考えている。学校内の余裕教室を活用して学童保育室を開設するとともに、民間学童保育室との連携により受け入れ体制の拡充を図るなど対策を講じてきた。5年4月に影森地内に民間学童保育室が開設され、現在は待機児童は発生していない状況である。

事業者支援事業

問 新分野進出チャレンジ補助金が当初予算300万円に対し、決算額が97万7千円理由は。



の様子(本庁舎4階)

【答】 国や県の補助金の利用が多かったためか、4年度の申請は2件であった。新型コロナウイルス感染症支援策のため、5年度の予算措置はない。

公衆トイレ維持管理事業

【問】 苦情件数が3年度52件、4年度57件と増加傾向にあるが原因は。

【答】 苦情の主なものはいり器や手洗い設備の不具合等。施設の老朽化に伴う苦情が増加の主な原因である。

討論

反対

【答】 本来国が行うべき事務を自治体に担わせる法定受託事務であるマイナンバー関連事務によって、市および市民が大きな負担を強いられている。マイナンバー制度の信頼は今、大きく崩れており、政府は、制度の抜本的な見直しを図るべきだと考える。また、400人も児童が利用していた「ふれあい学校」を廃止したことに伴い、4年度の学童保育室の待機率が大幅に増加した。子どもの居場所の確保という問題だけでなく、まらず、保護者の雇用の確保の問題、「ふれあい学校」で働いていた会計年度任用職員の職が失

われたという問題にまで影響が及んでいると考え、反対する。

4年度 国民健康保険 特別会計決算

【問】 診療施設勘定の大滝国民健康保険診療所の医療機器購入費の内容は。また、大滝国民健康保険診療所における医療機器の充足はどのようになっているのか。

【答】 医療機器購入の内訳は、レントゲン画像読み取り装置および聴力検査器具である。大滝地域で安心して医療サービスを受ける事ができるよう、必要に応じて医療機器の更新を進めている。

討論

反対

【答】 市民からは、国保税の引き下げの要望がある。一般会計からの繰り入れを増額して、子どもの均等割りをなくすべきであることを主張し、検討を求めてきたが、検討はされなかった。そもそも、引き下げてきた国庫負担を元に戻すべきであり、地方3団体（全国知事会・全国市長会・全国町村会）から指摘されている1兆円の公費投入で、協会けんぽ並みに国保税の引き下げ

をすべきであると指摘し、反対する。

4年度 後期高齢者医療 特別会計決算

反対

【答】 高齢になれば医療機関を受診する機会が増えるのは当たり前だが、中には、医療負担を心配し受診控えが起り、重篤な病気や、手遅れになる例があると聞いている。高齢者の命と暮らしをどう守っていくのかが問われているのに、保険料の負担を強いてきた経過がある。国は、現役世代の負担軽減のために高齢者の負担を増やす政策を推進している。対立と分断を持ち込むやり方に反対する。

討論

4年度 市立病院事業 会計決算

【問】 数年ぶりに当期純利益が計上されたが、その要因は。

【答】 過去、純利益が計上されたのが平成27年度であり、7



9月定例会本会議

年ぶりに純利益が計上された要因は外来と入院収益の増加があげられる。新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、検査や入院などのコロナ対応に人員が奪われ、病床も感染病床に転換するなどしたため、一般外来と入院が低迷していたが、4年度からコロナ禍ではあったが外来、入院とも患者数が増えたことによる。また、医療外収益については、コロナ関連の補助金の増加や光熱水費高騰対策支援金が支給されたことも要因である。費用の面では、減価償却費が減少したことも影響している。

決算以外の主な議案

市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

【問】 市立病院の職員の新型コロナウイルス感染症に対する防疫作業手当の廃止とのことだが、これまでの実績は。また、条例施行期日10月1日までの間については、防疫作業手当の支給はあるのか。

【答】 2年2月から5年6月ま

でに総額2513万9千円を支給している。その後、従前に比べ院内の感染対策が緩和されてきたことから支給要件を満たさないものと判断し、6月末までの実績を手当の支給期間として、7月以降の支給はしないこととした。

中学校部活動 地域移行推進協議会条例

【問】 地域移行推進協議会の設置目的は、国から4年12月に出された部活動改革のガイドラインを受けたもので、早急に部活動の地域移行を行うためのものであるとのことだが、いつまでを目的に協議会を開催し、結論を出すつもりか。

【答】 国のガイドラインでは、地域の実情に応じ関係者の理解のもと、できるところから取り組みを進めることが望ましいとされている。また、5年7月に出された県の方針では、5年度からの3年間を環境整備期間、8年度からの3年間を環境定着期間と位置付けている。市では、環境整備期間中に休日における部活動の地域移行の指針を協議会で作っていく予定である。その後、準備が整った種目から順次、休日の部活動について段階的に地域移行していく。

工事請負契約の締結
(影森グラウンド多目的グラウンド
改修工事)

問 予算は3億2031万円であるが、トイレ改修は別途行われるのか。また、工事完了予定が6年3月22日予定とのことだが、駐車場等周辺整備は今後行われるのか。
答 トイレ改修工事および周辺整備工事等は含まれていない。今後、付帯設備として防球ネット、照明設備、観客席、トイレ等を整備する予定であり、現在、設計業務委託に向けて、庁内で調整を進めているところである。

問 工事施工後の維持管理について、市直営でやるのか、指定管理者制度などを採用するのか。
答 現在、検討中である。早急に調整したい。



人工芝となる多目的グラウンド

一般会計補正予算(第4回)

問 旧中津川小学校校庭整備工事の内容は。
答 4年9月に発生した中津川地区の土砂崩落の経験を踏まえ、中津川地区で急病人等が出た場合、防災ヘリが降りられる場所として旧中津川小学校校庭を想定したものである。現在の校庭では、ヘリの離着陸が困難な状況であることから、障害となつている立木や鉄塔の撤去、飛散物がないように対策工事を行うものである。

問 使用済紙おむつ処理支援事業補助金について、民間の保育園で紙おむつを処理する費用とのことだが具体的な試算は。
答 民間保育園7か所、認定こども園8か所、事業所内保育所2か所、認可外保育施設4か所を対象に、使用済み紙おむつの処分に掛かるごみ袋等の消耗品と、使用済み紙おむつを衛生的に保管しておくためのごみ箱の購入経費である。処分に掛かるごみ袋等の消耗品については、月額1人あたり300円を想定している。

問 安心・安全メール再構築・運用業務委託料の内容は。
答 現在1市4町で運用している安心・安全メールについては、5年度末でシステムのサポート期間

が終了する事から、新たなメール配信システムを再構築するためのもの。運用開始は、6年3月を予定している。

問 勤労者住宅資金貸付制度融資預託金の貸付内容は。
答 新築や増改築を行う際、有担保であれば1千万円まで(利率1・865%)、無担保であれば500万円まで(利率0・9%)での貸付けを行うものである。

問 観光客誘客事業(よるさんぽ)予算は、4年度の約半額(1200万円)となつているが、開催規模と内容は。
答 5年度も観光庁に補助申請をしており、採択されれば800万円が補助される。4年度と同じく、年明けの1月以降の日程で開催し、まつり会館のプロジェクトエクスションマップは行わず、東町・番場通りなどの周遊を意図し、滞在時間の延長を図る。

問 吉田・大田地区乗合タクシー運行事業、デマント交通事業補助金の増額理由は。
答 スマホによる当日予約が可能になったことから、4年度265人の利用が、5年4月以降40%増の373人で、今後も利用が増えるの見込まれるため。

秩父市議会
ホームページを
ぜひご覧ください

議会では市民の皆さんの生活に密着した事案が審議されています。市議会ホームページでは、定例会等の日程や審議する議案、過去の会議録や録画中継映像などについても確認することができます。また、議員名簿や議会だよりのバックナンバー等も掲載しています。今回、内容を検討し、よく使われる議会用語の解説や災害時における議会の対応なども掲載しました。市ホームページのトップページのバナーから、または「秩父市議会」で検索して、ぜひご覧ください。



常任委員会の報告

総務委員会

9月定例会で付託された議案3件について報告する。

◆4年度一般会計決算

問 町会コミュニティ事業に関し、町会への負担が過重だという話を聞く。特に、市から要請をされる委員等の人選などが大変だという声だが、負担の軽減についての考えは。

答 町会長協議会でのアンケート等でも、人選についてはかなり負担になっているという話を聞いている。人数の変更や、委員の種類などを今後検討させていただきたいと考えている。

問 マイナンバーカード交付事務補助金に関し、マイナンバーカード取得促進について、高齢者や自力で申請に来られない方への対応は。

答 タブレット型の申請システムもあるのですが、場合によっては職員が赴いて申請を補助するなどの体制を整えていく。

問 ふるさと納税寄附金5億3190万円の内訳は。

答 人気返戻品は、金額順に「ウイスキー関連」が約2億5千万円、「カメラレンズ関連」が約1億円、「ゴルフクラブ関連」が約4700万円、「布団関連」が約4500万円、「イチゴ」がトータルで

約2400万円ほか、かなり多くの物に寄附をいただいている。

意見 マイナンバーカードについては、多くのトラブルが発生し、カードを返納する人も出ている。安全性を強調しながら、カード普及に躍起になり、リスクを度外視して、カード交付、申請件数を上げることを急ぎすぎた当然の結果だと思う。政府はマイナンバーカード、マイナンバー制度の制度設計を白紙に戻して仕切り直しをするときであると考え、反対する。

○挙手多数により認定
◆工事請負契約の締結
◆一般会計補正予算(第4回)
○以上2件は原案のとおり可決

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案13件について報告する。

◆4年度一般会計決算

問 子どもの居場所づくり推進事業交付金の交付状況は。

答 4年度はコロナ禍ではあったが、こども食堂の運営経費3団体分、開設経費2団体分を支出し、計40回、延べ822人の子どものために食事を提供していただいた。自粛していたこども食堂にも再開を働きかけていきたい。

問 文化財保護基金の活用は。
答 現在、黒谷の内田家住宅を保

存活用する計画を準備しており、計画ができたら基金の一部を活用していきたい。

○認定

◆4年度国民健康保険特別会計決算

意見 一般会計からの繰入金を減らし、歳入確保のために税率を上げる県の方針は、国民皆保険を崩壊させるものである。市民の負担を減らすべきと考え、反対する。

○挙手多数により認定
◆4年度後期高齢者医療特別会計決算

意見 埼玉県後期高齢者医療広域連合の決算等は黒字であり、必要がないのに保険料の値上げをしている。高齢者の負担は大変重いものであり、賛成できない。

○挙手多数により認定

◆4年度介護保険特別会計決算

問 病床利用率が低く、本館3階の病床が休床状態とのことだが、原因は。
答 医師および看護師が不足していることが大きな原因である。

○以上2件は認定
◆和解について

問 市立病院に勤務する条件で奨学金の貸付を受けていた医師が、市立病院に勤務できないため奨学金を返還することのだが、勤務できない理由は。
答 当人が専攻医として進みたい

診療料が市立病院にないため、勤務できないと申し出があった。

○原案のとおり可決

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

◆市立中学校部活動地域移行推進協議会条例

◆一般会計補正予算(第4回)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆市立病院事業会計補正予算(第1回)

○以上7件は原案のとおり可決



4年度一般会計決算(高篠中学校校舎大規模改造工事)の現地調査

まちづくり委員会

9月定例会で付託された議案11件について報告する。

◆4年度一般会計決算

問 畜産飼料価格高騰緊急対策事業補助金の内容および実績は。

答 地方創生臨時交付金を活用した事業で、メーカー等から購入した飼料に対し、購入費の一部を助成することにより、畜産経営の継続と安定を図るものである。14件の交付申請があり、全件、交付申請額どおり交付を行い合計204万8千4百円を交付した。

問 秩父新電力株式会社譲渡収入の譲渡先および譲渡理由は。

答 譲渡先は武蔵野銀行であり、市の保有する株式のうち5%、100株を譲渡とした。市が95%出資していたが、経営方針に賛同する出資者を募り、段階的に出資率を下げていく方針としている。

問 貨物運送業者持続化補助金の実績は。

答 地方創生臨時交付金を活用し、原油価格高騰により影響を受ける市内物流サービス事業者に対し、1事業者100万円を限度として支援するものであり、40の事業者に、普通貨物自動車1台5万円、小型貨物自動車1台2万円、合計24万3千4百円を交付した。

◆4年度農業集落排水事業特別会

計決算

◆4年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算

◆4年度公設地方卸売市場特別会計決算

◆4年度駐車場事業特別会計決算

○以上5件は認定

◆下水道事業会計利益の処分および決算

○原案のとおり可決および認定

◆一般会計補正予算(第4回)

問 新規導入作物等栽培管理委託の内容は。

答 信州大学が品種登録を進めているイチゴについて、大学の所在地と秩父の気候が似ていることから実証実験として40株程度を栽培するものである。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

◆駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

○以上5件は原案のとおり可決

◆天皇后両陛下の武甲山資料館ご視察についての請願

○採択



9月定例会で審議した議案の結果


議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否							
		市民6人	まほ5人	新政2人	公明2人	無会派 出浦	金崎	黒澤	
その他	和解について	○	○	○	○	○	○	○	
	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	
条例	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	
	市立中学校部活動地域移行推進協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算	一般会計補正予算(第4回)	○	○	○	○	○	○	○	
	国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	介護保険特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	
	請願	天皇后両陛下の武甲山資料館ご視察についての請願	○	○	○	○	○	○	○
		議員提出	○	○	○	○	○	○	○
秩父市議会基本条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	
議案	一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	×	×	○	
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	
	公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	
	議案提出	秩父市議会基本条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○

市民：市民クラブ まほ：まほらぼ 新政：新政ちちぶ 公明：公明党
無会派：会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

一般質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。ホームページのインターネット録画中継でご覧いただけます。

<p>① 清野 和彦 (新政ちちぶ) p7</p> <p>1 財政の健全化 2 秩父地域の医療提供体制 3 ミューズパークプール</p>	<p>⑥ 宮川 浩司 (まほろば) p10</p> <p>1 森林経営管理制度 2 公共施設の総量縮減 3 行政評価</p>	<p>⑪ 坂本 勝幸 (まほろば) p12</p> <p>1 防災・災害対策 2 空き家問題・空き家対策</p>
<p>② 小松 穂波 (新政ちちぶ) p8</p> <p>1 聖地公園の現状と今後 2 地場産業センターの活用 3 移住相談センターの設置場所 4 先進自治体に学ぶまちづくり</p>	<p>⑦ 大久保 進 (公明党) p10</p> <p>1 子宮頸がんワクチン男性へ接種費用助成 2 子どもの熱中症対策 3 知事選の低投票率</p>	<p>⑫ 赤岩 秀文 (市民クラブ) p13</p> <p>1 ユニバーサルツーリズム 2 市の公園設備 3 会議、会合における市長の挨拶内容</p>
<p>③ 宮前 昌美 (市民クラブ) p8</p> <p>1 緊急通報システム事業実施要綱 2 不登校対策としての代替案の進捗状況 3 学校現場・教職員の負担軽減 4 中学生の通学カバン自由化</p>	<p>⑧ 金崎 昌之 p11</p> <p>1 平和学習の現状とあり方 2 子どもたちの食と健康 3 熊の「大量出没」対策</p>	<p>⑬ 高野 佳男 (まほろば) p13</p> <p>1 違法な埋め土・盛り土 2 脱炭素化に向けての取り組み 3 将来のまちづくりプラン</p>
<p>④ 高野 宏 (市民クラブ) p9</p> <p>1 ふるさと納税過年度の実績と今後の対応 2 町会運営、住民からの苦情他 3 教育行政、水泳授業・交通安全指導他 4 子宮頸がん予防ワクチン接種状況</p>	<p>⑨ 笠原 宏平 (まほろば) p11</p> <p>1 荒川支所管内の市道幹線道路の整備状況 2 倒木対策 3 林道の維持管理 4 有害鳥獣対策</p>	<p>⑭ 黒澤 秀之 p14</p> <p>1 ひとり暮らし高齢者の支援 2 地震による防災対策 3 家具転倒防止器具取付費助成金の創設 4 崩落したままの市道尾田蔭111号線復旧</p>
<p>⑤ 浅海 忠 (市民クラブ) p9</p> <p>1 少子化に伴う学校の再編成 2 有害鳥獣対策 3 荒川河川敷の有効活用と管理</p>	<p>⑩ 内田 均 (まほろば) p12</p> <p>1 荒川流域のキャンプ状況 2 水道事業の休日の対応 3 黒谷地区内田家住宅 4 通学路安全対策</p>	

これからの市立病院の構想



新政ちちぶ 清野 和彦
きよの かずひこ

問 市立病院は、住民の命を支える基盤となる医療機関であり、市内にとどまらず秩父地域の広域圏においても重要な医療機関である。すでに建物や設備、医療機器の老朽化が進んでおり、将来、現況の施設のままでは経営していくことは不可能である。秩父地域の限られた医療資源を最大限に活かし、地域に必要な医療提供体制を堅持するために、秩父広域で運営する新たな病院の設立が望ましいと考える。市長の考えは。

答 広域でやるのか、市単独でやるのか、秩父地域の1市4町がどこまで同じ歩調を合わせられるかが課題だと思う。新しい市立病院の建設に向けても前向きに取り組んでいきたい。

● ミューズパークプール

問 開園以来30年以上が経過しており、不具合も多い。今後、長期間、施設を維持していくためには大規模な修繕が必要であるとされ、現在の指定管理期間も6年度までとなっている。現在の施設をどのようにするのか、これからのような構想を持って事業を進めるのか。

か、決断をする時期が来ていると思う。今後の考えは。

答 プールの指定管理者と協議を進めているが、通常のメンテナンスや修繕では来季の開園は難しいことが確認された。7年度にはミューズパークを会場に全国植樹祭が開催される。現在、都市公園を対象に進めている「公園施設の長寿命化計画」の調査結果を踏まえ、今後のあり方を検討していく。



医療提供体制の維持のために可能な限り早急な検討を

- ◎ 財政の健全化
- ◎ 救急医療体制

先進自治体に学ぶ まちづくり

問 ふるさと納税制度を活用し、成功している先進自治体に学ぶまちづくりとして、ふるさと納税に特化した担当課などの設置は。

答 6年度の組織改正に関する検討の中で、協議していく。

問 Z世代など若い世代が活躍できるまちづくりについての考えは。

答 若い世代が活躍できるまちづくりについては、どのような目的を持って若者にまちづくりの参加を促すのかを整理し、若者に積極的にまちづくりに参加していただく方法について検討していく。

●聖地公園の現状と今後

問 財源確保の視点も踏まえ、現行とは異なる合葬墓の導入は。

答 寺社との調整、石材店への影響など、民間との競合が懸念されるが、まずは、秩父地域外の方を対象にした納骨堂ということも検討の余地はあると考える。

●地場産業センターの活用

問 今後の地場産業センター建築物活用の考えは。

答 中心市街地の賑わいを創出することをテーマとし、若手職員が



完成から38年が経過した地場産業センタービル

新政ちちぶ

小松 ことまつ

穂波 ほなみ



●移住相談センターの設置場所

問 センター移転の意向は。

答 現在、西武秩父駅や東町通り、番場通り周辺の空き物件の情報収集を行っており、移転先として適切な物件が見つかれば、移転を進める方向である。

不登校対策として 代替案の進捗状況

問 不登校になった子どもたちが特別なカリキュラムで学べる「学びの多様な学校」や、深谷市では不登校を未然に防ぐための「アップローチルーム」の設置など、近隣の自治体でも一歩踏み込んだ不登校対策がなされている。4年6月定例会の一般質問でも「校内フリースクール」について提案したが、市の対応は。

答 5年度から教育相談室の相談員が各校へ訪問し、学習支援や教育相談を行う「学校訪問支援」を行い、空き教室を利用した「校内フリースクール」として個別指導を実施している。3か月間、延べ48回の訪問で、62人の児童生徒の支援にあたり、学校からの要望も多いため今後も続けていきたい。

●学校現場・教職員の負担軽減

問 クレーム対応などにより、学校運営や授業の準備以外に多くの時間を取られてしまうなど、現場の疲弊が懸念される。在校時間も長く、文部科学省の諮問機関である「中央教育審議会」から、教員の負担軽減を図るための緊急提言

市民クラブ

宮前 みやまえ

昌美 まさみ



下郷児童館内にある「教育相談室」・「ひまわり教室」

がなされたが、状況把握や対策は。
答 「小・中学校における働き方改革基本方針」を策定し、全教職員を対象にストレスチェックの実施後、希望者には医師による面接や、自己評価シートを元に管理職との面談、臨床心理士による講座の受講などの取り組みを行っている。児童生徒のみならず、教職員がスクールカウンセラーに気軽に相談できる体制を整え、知識・経験豊富な専門職員との連携により、フオローが必要とされる教職員を見逃すことのないよう、学校現場への配慮を更に進めていく。

小中学校の水泳授業と 施設の維持管理



市民クラブ 高野 宏
たかの ひろし

問 5年度の水泳授業の状況は。

答 天候にも恵まれ、計画どおり、小中学校ともに、各学年8時間から10時間程度行われたが、施設の不具合による開始時期の先送りや、時期途中でプールの使用を中止した事案が発生した学校もあった。また、猛暑による高気温で授業を中止したケースもあった。

問 施設の管理費は。また、補修が必要な老朽施設はあるか。

答 施設の管理費用は、水道料金、プール用薬剤、ろ過装置の保守点検等、1施設あたり例年30万円程度である。各学校でプールに注水する時期には、バルブや止水弁の取り扱いに注意し、必要以上に水の流失がないよう注意喚起をしている。しかし、施設の老朽化も明らかに進んでいる状況で、プール施設は、市内小中学校21校のうち17校が所有しているが、建築からすでに50年を経過したものが6施設あり、給排水管の改修や、ろ過装置の交換等、大規模の改修には、数百万円規模の費用が想定され、さらに施設全体の改築には、1億5千万円から2億円程の費用が見込まれる。現状では、突発的不具

合の際は、応急修繕を行うのが実情であり、今後も同様の対応が現実的である。

問 民間委託についての考えと水泳授業の在り方、必要性は。

答 市では、小学校1校で民間委託を実施しているが、専門家の指導による子どもたちの泳力向上は言うまでもなく、教職員の負担軽減など働き方改革にも大きく寄与しており、他校にも広げていくことが望ましいと考えている。今後、他校での民間委託についても、総合的に判断していく。



楽しいプール授業

有害鳥獣対策



市民クラブ 浅海 忠
あさうま ただし

問 有害鳥獣が農作物を荒らしている。有害鳥獣の被害状況は。

答 4年度は、イノシシが被害面積1・1ヘクタール、被害額198万円（2年度比1・2倍）、ニホンジカが被害面積6・3ヘクタール、被害額566万円（同2・5倍）、ニホンザル1・8ヘクタール、被害額657万円（同2・4倍）と、増加している。

問 防護柵等の対応設備に対しての補助の拡充は。

答 5年度は、これまでの実績を踏まえ前年度比50%増の予算を計上したが、8月末で使い切った。鳥獣被害が拡大していること、物価高騰が予算不足を招いた一因でもある。まだ希望者も多いため、12月定例会に補正予算を計上して対応したい。

●荒川河川敷の有効活用と管理

問 荒川総合運動公園に隣接している河川敷に川遊びの人が多く訪れている。トイレや水道、駐車場の無断利用や夜間の花火等で近隣者が迷惑している。施設の環境整備費等として有料化はいかがか。

答 5年度、一部の利用者による駐車場への無断駐車、グラウンドへの無断侵入および使用、トイレ以外の場所で排泄する等の問題が発生し、対応や片付けに苦慮している。秩父警察署に対応を依頼したケースもあった。わかりやすい看板の設置、警察の巡回依頼、パトロールを強化したい。河川付近の施設利用等に対し、協力金や駐車料金等を課しているところもあるが、運動公園の駐車場はグラウンド等を利用する方のためのものであり、目的外で使用する方からの協力金徴収は考えていない。



荒川総合運動公園に隣接する河川敷と運動公園駐車場

行政評価システム 進化への期待

問 行政評価システムを導入後、約15年が経過したが、その後の改良点や今後の課題は。

答 平成20年度に行政評価の導入後、「基本事業」を細分化し、翌年の予算査定に利用しやすい形にした。平成25年度には、「施策評価」を導入し、元年度からは「予算資料シート」を取り入れるなど、幾度かの改善を行い、現在の方式として運用している。しかし、シートを作成する職員により記入精度にばらつきがあることや、施策改善へとつなげる展開の弱さは、課題として今後工夫をしたい。

問 信用度を高めるために、外部評価者の導入はどうか。

答 外部評価については、制度の信頼性を高める効果があると考え、今後は検討したい。

● 公共施設の総量削減

問 余剰施設の洗い出しはどの程度進んでいるか。

答 既に施設全体の洗い出しは行っている。計画期間内に、その都度、適切な見直しを行っていくことで、「延べ床面積35%削減」の数値目標の達成に向けて取り組み

む。

● 森林経営管理制度

問 経営管理を行うにあたり、森林所有者への意向調査の進捗は。

答 森林経営管理制度については、秩父地域森林林業活性化協議会と連携しながら取り組み、意向調査は、約1950ヘクタールで実施した。

問 今後の取り組みは。

答 森林の集約化による整備の効率化を図り、木材利用を推進していく。



まほろば 宮川 浩司
みやがわ ひろし

行政評価シート
(市ホームページより)

男性へのHPVワクチン 接種費用助成

問 熊谷市が男性へのHPVワクチン費用助成を10月から開始するが、いち早く取り組みれば注目度も高く子育て世帯への目玉施策となりうると思うが、市の見解は。

答 男性への接種については、2年2月に薬事承認されたが、定期予防接種の対象は女性のみとなっているため、男性が接種する場合には任意予防接種の扱いとなり、接種費用は全額自己負担になる。市内の医療機関への調査では、男性への接種実績4件、問い合わせは5件あった。国も検討を始めている情報もあることから、国の動向も確認しつつ助成の開始について慎重に検討していく。

● 子どもたちの熱中症対策

問 ランドセルに装着するパッドを取り入れてはどうか。

答 保冷剤入りのランドセルパッドの活用には、1人1個の配布だけでなく、各学校へ冷凍庫の配備が必要になる。予算の関係もあり導入は難しい。一方で、保冷剤を入れないタイプもあり、汗取りパッドとして、通気性や吸水性に優れた素材できており、ランド



公明党 大久保 進
おおくぼ すずむ

セルと背中の中の蒸れを解消するものだが、これによる効果や使用感を十分に検討していく必要がある。教育委員会としては、現在の熱中症対策をより徹底し、予算状況を踏まえ検討していく。

● 知事選の低投票率

問 過去最低の投票率であったが選挙管理委員会の受け止めは。

答 投票率の低下を重く受け止め有権者の一人一人が選挙に関心をもち、一票の権利を行使するよう継続して啓発や周知に努めていく。



ランドセルパッド

平和学習の現状とあり方



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 タレントのタモリさんが放った「新しい戦前」という言葉が話題になった。戦後78年経って、戦争を語る方が年々少なくなっている。平和が脅かされている今日、児童生徒たちと学ぶ平和学習がますます重要になっていると考えるが。

答 平和に関する学習はより重要になっている。埼玉ピースミュージアム(旧埼玉平和資料館・東松山市)などの利用を促し、知徳体のバランスのとれた児童生徒を育成していきたい。

子どもたちの食と健康

問 コロナ禍による生活環境の変化で、子どもたちの健康や学力が心配されるが。

答 5年度学力・学習状況調査の結果から、朝食をとらない子は朝食をとる子に比べて、学力が低くなる割合が1・5倍ほど高い結果となった。「早寝、早起き、朝ごはん」が定着するように呼びかけていきたい。

熊の「大量出没」対策

問 猛暑が続く8月末、「秩父で



羊山公園脇に立てられた『熊出没注意』の看板

クマ目撃増加、市街地でも。市内全小中学生に鈴と笛配布」との新聞記事が掲載された。人里で熊の目撃数が増加している原因は。

答 山の高い位置に食糧が無いためだと考える。

問 熊の出没には、どのような対策が有効だと考えるか。

答 野外活動をする人たちに、残飯を放置しないことや、生ごみを持ち帰る等のマナー徹底を呼びかけたり、家の軒下のハチの巣の撤去などが有効だとされている。

大きくなり過ぎた樹木の倒木対策



かさほら こうへい
笠原 宏平

問 公共用地を含め、私有地において大木となってしまった樹木の点検や管理は。

答 背の高い木が多い公園については、羊山公園管理事務所の職員が清掃や除草作業などの日常業務をする際に確認し、危険と判断した場合、随時、剪定、伐採を行っている。民地内の高木の管理や道路に面した植栽が危険と判断した場合は、所有者に伝え協力をお願いしている。

林道の維持管理状況

問 林道の排水溝が土砂等で埋まり、雨水が道路を壊している状況だが対策は。

答 市の森林管理道は、68路線、延べ延長は約123.3kmある。林道の排水溝への土砂等の堆積は林道崩壊の原因の一つと考えている。側溝の土砂清掃など排出工事は、森林環境譲与税を活用し、2年度から行っている。林道は森林の適正管理や山村地域の生活道路や災害時の迂回路となるなど地域住民の生活に重要な役割を果たしており、今後も引き続き森林管理道の維持管理を実施する。



土砂で埋まった側溝

荒川支所管内の幹線道路整備状況は。

問 荒川幹線2号線は、5年度は錦沢から西側区間約550mを拡幅工事の詳細設計を実施。荒川幹線3号線は、国道140号荒川中学校入口信号機付近から秩父鉄道踏切までの63mを、5年度に用地買収、物件補償を進め、契約が整い次第、工事を進めていく。荒川幹線4号線は、三峰口駅に隣接の公衆トイレを解体し新築工事を行った後、拡幅工事を行う予定。

荒川流域のキャンプの状況



まほろば **内田** 均
うちだ ひとし

問 影森グラウンド下の河川敷など荒川流域でのキャンプの状況の認識と、今後の対応は。

答 モラルに反する使用をしている方がいるのは認識している。県土整備事務所と連携し、ロープやチェーン等が張れないか協議したが、河川に立ち入ること自体は制限できず、釣り人や住民の理解や協力を得ることが必要になる。今後、関係機関とも調整を図りながら対策について検討する。

問 緊急ヘリポートへの侵入対策は。

答 緊急ヘリポートのマークが消えているので書き直しを実施する。

問 水道事業の休日対応の対応は。

答 広域市町村圏組合に確認したところ、水道管の漏水対応は地区ごとに異なるとのこと。「配水管」から各家庭に水を送る「給水管」の漏水については、個人の財産であり、修繕は個人が原則行う。

市指定有形文化財

黒谷地区の内田家住宅について



黒谷地内の市指定有形文化財「内田家住宅」

て、保護・保存についての考えは。
答 江戸時代に建てられた、市にとって大切な文化財だが、現状、屋根等傷みが進み、根本的な補修が必要になってきている。教育委員会では、3年度に文化財地域保存計画を策定し、文化庁の認定を受けた。その中で、内田家住宅は、黒谷地区の古代および近世の銅採掘に関する文化財を集約した関連文化財群の拠点であり、補助金等を利用して、保存修理や活用含めて、検討していきたいと考えている。

災害・防災対策



まほろば **坂本** 勝幸
さかもと かつゆき

問 市内各所の災害発生時の一時集合場所が土砂災害警戒区域内にある地区があるが、今後の対応は。

答 市では、災害発生時に自主避難場所が、本庁舎、各総合支所の4か所、指定一般避難所55か所、指定福祉避難所が14か所、指定緊急避難所48か所および2か所の広域避難場所としている。一時集合場所は、町会が選定・指定しており、相談いただければ一時集合場所の見直しについて、支援していく。

問 災害時の自主避難所の開設についての対応は。

答 市では、4か所の自主避難所を指定している。各町会が公会堂などを利用して自主避難所を開設する場合については、避難所の運営は自主防災組織など、地域の皆さんにお願いするが、その後の支援を行う必要があるため、開設した場合には速やかに市に連絡をしていただきたい。

問 防災倉庫の活用については。

答 各地に配置されている防災倉庫は災害時に備えて所管する総務部危機管理課で管理している。防災倉庫内の備蓄品についても、定

期的に自身の点検、補充、交換をしている。

空き家問題・空き家対策

空き家対策の今後の対応は。

答 「秩父市空き家対策計画」は、平成30年度から4年度までの5年間を計画期間としている。5年度中に、「秩父市空き家対策協議会」で審議し、改定を目指す。



災害時に備えての防災倉庫

市の公園設備

問 休園が続いているミューズパークプールについて、ここ数年の経過と今後の方向性は。

答 ミューズパークプールは開設以来30年が経過している。2年度、3年度は新型コロナウイルスのまん延により営業を中止、4年度、5年度は施設の不具合により営業を中止した。施設の不具合の多くは、給排水や、ろ過機へつながる配管からの漏水が原因とみられ、大部分が地中に埋設されていることから完全な修繕が不可能で、通常のメンテナンスや修繕では来季の開園は困難な状況と確認された。5年度に「公園施設の長寿命化計画」の策定を進めているが、相当額の改修費用が見込まれる。今後は計画策定の結果を踏まえプール施設も含め、ミューズパークスポーツの森の今後の在り方を検討する。

問 キッズパークは、別所地区にあった流水プールの跡地に市が整備し税金で運営されている。無料の公園で、秩父地域の内外から多くの来園者を迎えているが、祝日ともなると、秩父地域外からの来園者で駐車場がいっぱいになり、



人気の公園施設キッズパーク

地元の子どもたちが入園できない事があり不満の声が聞こえてくる。秩父地域と地域外の差別化を図るため、地域外の来園者に利用料金を設定することはできないか。

答 施設の利用料金制については以前検討したが、料金の徴収方法、経費とのバランス、条例の制定や、施設規模に見合った金額の設定が難しいなどの理由から、結果的に、子育て支援施設であること、地域の活性化に寄与する施設であることから利用料金は無料としている。



市民クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひでふみ

ゼロカーボンの魅力的で歩きやすいまちを作ろう

問 市は2050年度までに市内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」をしているが、現状は。

答 4年度に「秩父市地域脱炭素ビジョン」を策定し、太陽光発電を中心とする地域の再エネポテンシャルを最大活用するとともに、豊かな森林による二酸化炭素の吸収量と合わせ、2050年度には「カーボンマイナス」を実現するべく、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等への申請の準備も含め、鋭意努めている。また、その一環として秩父新電力を設立し、再エネの地産地消を促進することにより、地域経済の改善にも貢献したい。

● 将来のまちづくりプラン

問 2020年の都市再生特別措置の改正に伴い、市の都市計画マスタープランの改訂や立地適正化計画の策定がなされたが、国の方針では「コンパクト＋ネットワーク」の核となる「まちなか」の活性化に重点が置かれている。市の今後の取り組みは。

答 上位計画である「秩父市総合



まほろば 高野 佳男
たかの よしお

振興計画」等との整合を図りつつ、人口減少や高齢化の傾向、災害への対処などを考慮しながら、市の全域を対象に都市のコンパクト化を目指している。中心部では人口密度の水準を保ち、緑化による脱炭素化の推進も念頭に、観光客と住民の双方に魅力的で歩きやすいまちづくりを進めたい。



2050年カーボンニュートラル実現へ（「秩父市地域脱炭素ビジョン」より）

ひとり暮らし高齢者増加 もしもの時の対応は

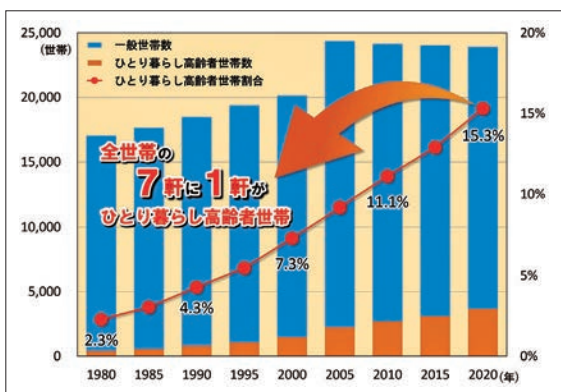


黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 今年の夏は、観測史上もつとも暑い夏となった。熱中症による救急搬送者数は急増し、65歳以上の高齢者が全体の6割近くにのぼる。国勢調査の統計データによると、市におけるひとり暮らしの高齢者世帯数は、全世帯に対し7軒に1軒の割合となっており、この20年間で2倍以上になっている。ひとり暮らしの高齢者にとって、同居する家族がいけないことは、いざという時の対応が極めて困難である。市における施策は。

答 万が一の時の対応として、緊急通報システム事業を行っている。高齢者等の住居に設置した携帯用無線発信機から、緊急通報用電話機を通じて発信した通報を、秩父消防本部に設置した装置で直接受信するシステムで、高齢者等が急病・事故その他の理由により、緊急に救助を必要とする場合において、119番を押すことなく、ワンプッシュでシステムを通じ、通報することができるシステムである。速やかに状況確認や救助活動を行うことが可能であり、4年度は373人の方が利用している。また災害発生時においては、自力

での避難が困難な方を対象に、地域の支援者（市災害対策本部、民生・児童委員、社会福祉協議会、警察署、消防署、消防団、町会）が、安否確認や避難の支援などを行なうための避難行動要支援者支援制度を運用している。あらかじめ名簿に登録しておくことにより、災害発生時において迅速・的確な救助活動や避難支援ができるようになる制度であり、4年度は779人の方が登録している。



ひとり暮らし高齢者世帯の推移

◎救急医療情報キット配布事業

市議会を 傍聴してみませんか？

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する日に、市役所本庁舎4階の「傍聴受付」にお越しいただき、受付票に必要事項をご記入ください。
市政を知る機会として、ぜひ、お気軽にお越しください。



12月定例会の予定

日 程	議 事
11月21日(火)	開会、議案説明
27日(月)	議案に対する質疑
28日(火)	文教福祉委員会
29日(水)	総務委員会
30日(木)	まちづくり委員会
12月6日(水)	一般質問
7日(木)	
8日(金)	
13日(水)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。
※議場は、本庁舎の4階です。
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

暑かった日々もすっかり秋の気配に。日頃より市政に関心をお寄せいただき、感謝申し上げます。
市議会議員の仕事のひとつとして、市の現状や問題点、それぞれの活動の様子を広く伝えていくことが重要と考えています。身近な問題に丁寧に寄り添い、一人一人の声を行政に伝え、いただいた回答で、これからの展開や考え方を、議員としてきちんと答えられることが、皆さまの安心に繋がると思っております。

9月定例会では4年度の決算審査が行われ、予算がどのように使われ、どんな成果が得られたのか、本会議や委員会でも活発な議論がなされました。ぜひ皆さまにも、傍聴にお越しいただき、議会を身近に感じていただければ幸いです。
令和5年10月 宮前 昌美 記

編集委員

委員長 本橋 高野 佳
副委員長 出浦 章
委員 高野 佳

本橋 高野 佳
出浦 章
高野 佳
宮前 昌美
清野 幸
坂本 秀之
黒澤 幸
高野 幸
浅海 忠